

舞鶴市民新聞

発行所
(株)舞鶴市民新聞社
〒621-0905
舞鶴市福来912-1
電話 0773-78-2055
ファクス 0773-77-1750
郵便振替口座 01000-4-42544

京大で時計台対話集会

参加者 募る!! 舞鶴水産実験所が送迎バス

京大は舞鶴の水産実験所を含む全国にあった研究施設を統合し、昨年四月に同センターを設置。森と里と海のつながり、そこに人がどう関わっていかを研究する科学をスタートさせた。その発足を記念して同センターが目指す研究を知ってもらうと、二日から八月二十九日まで、京大の総合博物館で企画展「森と里と海のつながり—京大フィールド研の挑戦—」を開催。舞鶴水産実験所は舞鶴市民にも来場してもらおうと、舞鶴から京大まで送迎バスを出す。参加者を募っている。

「森を築いて海を思う」

作家のニ科尔さんが講演

対話集会は十七日、長野県在住で森の再生活動に取り組むニ科尔さんが、「森を築いて海を思う」と題して講演する。午後一時〜同四時。二十四日は宮城県気仙沼湾で牡蠣の養殖業を営み、湾に注ぐ大川源流の森で植樹運動を進める畠山重篤さん、同研究センター長の田中克さん、国際日本

京大は舞鶴の水産実験所を含む全国にあった研究施設を統合し、昨年四月に同センターを設置。森と里と海のつながり、そこに人がどう関わっていかを研究する科学をスタートさせた。その発足を記念して同センターが目指す研究を知ってもらうと、二日から八月二十九日まで、京大の総合博物館で企画展「森と里と海のつながり—京大フィールド研の挑戦—」を開催。舞鶴水産実験所でも舞鶴湾の環境を紹介したパネルや魚を展示した。

文化研究センター教授の安田喜憲さんら五人が講演する。午後一時〜同五時半。入場は無料。舞鶴から送迎バスを出す。乗車場所はJR東舞鶴駅前(午前七時五十分発車)かJR西舞鶴駅前(同八時十分発車)。同十一時ごろに京大に到着し、企画展を見学した後、時計台内のレストランで食事をし、集会に参加する。定員は各回二十人(先着順)。費用は一回につきバス代と昼食代を含め五千七百円。希望者は往復はがきに住所、氏名、電話番号、参加希望日、参加者名を記入し申し込むこと。あて先は〒625-0086長浜無番地 京大水産実験所 時計台対話集会係。☎62・5512、同実験所。

(1)

昭和61年12月30日第3種郵便物認可

第1820号